

関修委研究委員会報告

平成21年度

修学旅行の実施状況並びに「修学旅行での取り組み」

に関するアンケート調査集計結果の分析と考察

感性をはぐくむ修学旅行の探究(その2)

<平成21年度研究委員会>

研究委員長	森田 良司 (上三川町立上三川中学校長)
研究委員	仁平 良治 (日立市立中里中学校長)
”	中島 智雄 (みなかみ町立水上中学校長)
”	守屋 勝利 (行田市立見沼中学校長)
”	富永 安男 (鴨川市立江見中学校長)
運営委員	宗像 茂 (宇都宮市立陽東中学校長)
”	横山 浩之 (吉岡町立吉岡中学校長)
”	守谷 一美 (水戸市立第五中学校長)
”	菊池 三郎 (さいたま市立三橋中学校長)
”	藤崎 章一 (木更津市立富来田中学校長)
事務局	鈴木 和夫 (財団法人全国修学旅行研究協会)
”	金子 泰久 (”)
”	吉野 憲二 (”)

平成22年2月23日(火)

関東地区公立中学校修学旅行委員会

(事務局 財団法人全国修学旅行研究協会)

目 次

調査研究のねらい	1
調査概況	1
1 調査の対象		
2 調査の時期		
3 調査の内容		
4 回答の状況		
実施概況	2
1 実施時期		
2 実施日数		
3 実施方面		
4 宿泊地		
5 県別費用区分	5
5 - 2 方面別費用区分		
5 - 3 方面別平均費用		
6 不参加生徒数について		
(1)不参加生徒数の有無		
(2)理由別不参加の延校数と生徒数		
連合体の新大阪以西の利用について	6
1 広島まで利用可能となった場合		
1 - 1 連合体利用状況別		
2 費用増額となるが利用を希望されるか		
2 - 1 連合体利用状況別		
修学旅行に向けての取組みについて	7
1 修学旅行を実施するにあたり、最も期待されている内容は何か		
2 その期待に向けて、訪問地で最も重視した活動はどのようなことか		
3 どのような直接体験活動が組み込まれたか		
4 その活動の良かった事、また課題となったことはどのようなことがあるか		

平成21年度修学旅行の実施状況調査

調査研究のねらい

今年度より、特別活動は新学習指導要領の先行実施期間に入った。修学旅行の実施にあたっては、特別活動の目標を達成するため、ねらいや育てたい資質・能力を明確にし、活動を充実させていくことが求められる。

昨年度、関東地区公立中学校修学旅行委員会(関修委)は、修学旅行の充実のために、「修学旅行と各教科等との関連」について調査・研究し、「教科等との関連を一層推進すること」「充実した、感動のある修学旅行の実現を図ること」等を提言した。

これを受け、本年度は「充実した、感動のある修学旅行の実現を図る」ためには、「自己を見つめる契機や感性を育てる出発点となるような、生徒の感性に働きかける体験活動」が重要である、との仮説に基づき、研究を行った。多くの学校が修学旅行中に体験学習を取り入れているが、これに「生徒の感性に働きかけ、感動や共感を顕させていく価値(感性価値)」を付加することでより充実した修学旅行が実現できると考えたものである。

また、平成21年度の修学旅行は、新型インフルエンザの発症に伴い、中止の措置を余儀なくされそして、多くの学校が夏休みやそれ以降に延期した。

このような状況の中で、各学校がどのような対応をし、どのような課題や問題があったかを調査し、今後の対応の参考とすることが必要と考えた。

そのため今年度は、

「新型インフルエンザ発症に伴う修学旅行の対応について」

修学旅行の実施状況並びに「修学旅行での取り組み(感性をはぐくむ修学旅行)」について
の二つのアンケート調査を実施し、資料として提供することにより、各学校の修学旅行が更に充実することをねらいとして研究を行ってきた。

については調査報告書をすでに各学校に配布し、については栃木県以外の学校について11月に調査を実施し関東地区公立中学校修学旅行委員会としてまとめたものである。

調査概況

1. 調査の対象 関東5県(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉)の公立中学校
2. 調査の時期 平成21年11月
3. 調査の内容 (1)平成21年度実施(調査以降の予定を含む)の修学旅行の概況
時期・日数・旅行方面・宿泊地・旅行費用・不参加生徒数
(2)連合体の新大阪以西の利用について
(3)修学旅行に向けての取り組みについて

4. 回答の状況 (校・%)

区分	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	合計
調査校数	233	167	172	423	383	1,378
回答校数	171	167	144	411	371	1,264
回答率	73.4	100.0	83.7	97.2	96.9	91.7
有効回答数	171	165	144	410	370	1,260
有効回答率	73.4	98.8	83.7	96.9	96.6	91.4

○調査対象について

- ・群馬県には国立附属中学校、県立中学校各1校を含む。
- ・千葉県には市立養護学校1校を含む。

○有効回答数について

- ・栃木県では合同実施校(3校)の回答を1校として集計している。
- ・埼玉県1校(行事見直しのため)、千葉県1校で本年度の実施がなかった。

回答記入者別状況

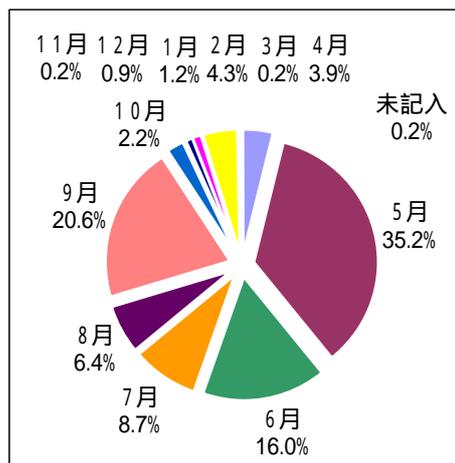
区分	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	合計
校長	22	96	34	217	217	586
その他	147	69	107	186	152	661
未記入	2		3	8	2	15

実施概況

1. 実施時期

(校)

	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	合計
4月	13	34		1	1	49
5月	67	25	26	170	156	444
6月	3	92	2	34	71	202
7月	3			32	74	109
8月	15	5	25	24	12	81
9月	62	8	77	68	44	259
10月	5		12	6	5	28
11月			1	1	1	3
12月				11		11
1月	2			9	4	15
2月	1			51	2	54
3月			1	2		3
未記入		1		1		2
合計	171	165	144	410	370	1,260



2. 実施日数

(校)

	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	合計
2日間				3	1	4
3日間	171	164	144	407	367	1,253
4日間		1			2	3
合計	171	165	144	410	370	1,260

- ・2泊3日の学校が99, 4%を占める。
- ・1泊2日での実施は埼玉県で3校、千葉県で1校ある。
- ・3泊4日は栃木県で1校、千葉県で2校ある。

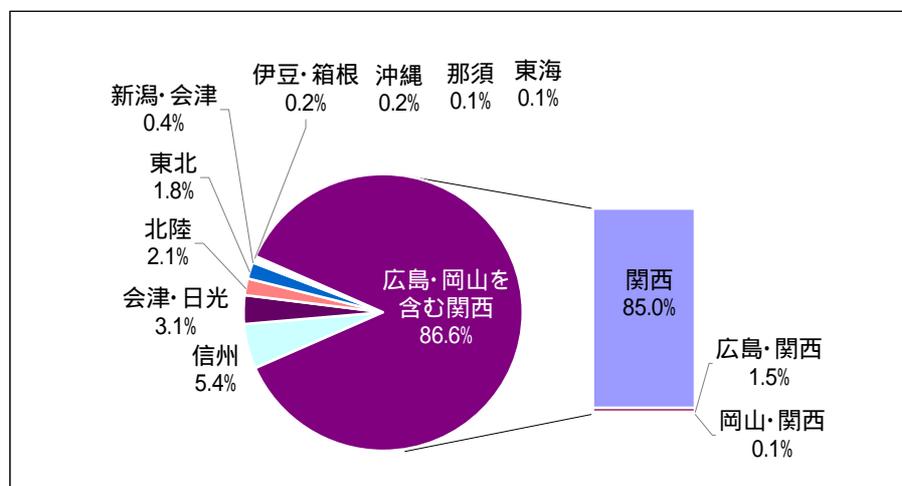
3. 実施方面

(校)

	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	合計
東北	1		1	1	20	23
会津・日光					39	39
新潟・会津					5	5
那須					1	1
伊豆・箱根			1		1	2
信州	1				67	68
北陸			1	26		27
東海					1	1
関西	166	156	132	382	235	1,071
広島・関西	3	8	7	1		19
岡山・関西					1	1
沖縄		1	2			3
合計	171	165	144	410	370	1,260

東北方面=青森・岩手・山形・秋田・宮城

- ・関西方面が86, 6% (1,091校)と圧倒的に多い。
- ・信州、会津・日光、東北方面は千葉県の学校が実施している。
- ・北陸方面は埼玉県の学校で実施している。(インフルエンザの影響で急遽変更する)
- ・広島方面は昨年と同様1.5%の学校で実施している。



4. 宿泊地

<1泊目>

(校)

府県	市町村	地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	合計
青森県	大鱒町						2	2
岩手県	花巻市	花巻温泉	1				3	4
	一関市	矢びつ温泉					1	1
	雫石町	民泊					1	1
	遠野市						1	1
	久慈市	山形町					1	1
秋田県	仙北市	田沢湖			1			1
山形県	上山市	蔵王坊平高原					4	4
	南陽市						1	1
	高畠町						1	1
福島県	会津若松市	東山温泉				1	15	16
	南会津町	会津高原					1	1
	下郷町	湯野上温泉					1	1
	天栄村	ブリティッシュビルズ					1	1
	猪苗代町	磐梯高原・はやま温泉					5	5
	磐梯町						3	3
	北塩原村	松原湖、裏磐梯高原					12	12
栃木県	日光市	奥日光					4	4
	那須町						1	1
神奈川県	箱根町						1	1
新潟県	妙高市	妙高高原					1	1
	津南町						1	1
	阿賀町						1	1
	山ノ内町	北志賀高原					2	2
	十日町市						1	1
長野県	松本市	乗鞍高原、上高地					8	8
	白馬村	白馬八方、白馬竜王	1				7	8
	大町市	大町温泉				2		2
	安曇野市	穂高					8	8
	諏訪市						16	16
	信濃町	黒姫高原					5	5
	茅野市	横谷温泉・蓼科高原					3	3
	長野市	鬼無里・大岡地区					4	4
	立科町	白樺高原・女神湖					4	4
	飯田市						2	2
長野県						1	1	
石川県	金沢市				1	22		23
	能美市					1		1
	志賀町					1		1
静岡県	南伊豆町	妻良(民宿)			1			1
岐阜県	高山市						6	6
	白川村						1	1
愛知県	名古屋市						1	1
滋賀県	大津市	琵琶湖畔・雄琴温泉	2	2	1	9	9	23
	草津市		1			1		2
	滋賀県			2		3	2	7
京都府	京都市		145	129	111	322	203	910
	宇治市					4		4
大阪府	大阪市		4	3	3	2	7	19
	東大阪市		1					1
兵庫県	神戸市		1					1
	西宮市						1	1
奈良県	奈良市		15	20	16	40	11	102
	平群町	信貴山				1		1
	吉野町						1	1
広島県	広島市			6	6		1	13
	廿日市市	宮島		1				1
沖縄県	那覇市				1			1
	本部町			1				1
	恩名村				1			1
未記入				1	2	1	4	8
合計			171	165	144	410	370	1,260

<2 泊目>

(校)

府県	市町村	地域	茨城	栃木	群馬県	埼玉	千葉	合計
青森県	平川市	民泊					2	2
岩手県	花巻市		1				2	3
	盛岡市	つなぎ温泉					1	1
	雫石町	民泊					1	1
	釜石市	民泊					1	1
	遠野市	民泊					2	2
宮城県	松島町	松島			1	1		2
山形県	上山市	蔵王坊平高原					4	4
	南陽市						1	1
	高島町						1	1
福島県	会津若松市	東山温泉					11	11
	南会津町	会津高原					1	1
	喜多方市	民泊					1	1
	天栄村	ブリテッシュビルズ					1	1
	猪苗代町						1	1
	磐梯町						6	6
	北塩原村	桧原湖・裏磐梯高原					15	15
栃木県	日光市						4	4
	那須町						1	1
神奈川県	箱根町	強羅			1			1
山梨県	富士河口湖町	西湖民宿					1	1
新潟県	津南町						1	1
	阿賀町						1	1
	阿賀野市						1	1
	山ノ内町	北志賀高原					2	2
	十日町市						1	1
長野県	松本市	乗鞍高原・上高地	1				6	7
	白馬村	白馬竜王・白馬八方					8	8
	大町市	大町温泉					2	2
	安曇野市	穂高、蝶ヶ岳温泉					6	6
	諏訪市						14	14
	信濃町	黒姫高原					6	6
	茅野市	華山高原・横谷温泉・蓼科高原					7	7
	原村						2	2
	長野市	鬼無里					4	4
	立科町	白樺高原・女神湖					7	7
	飯田市						1	1
	阿智村	昼神温泉					1	1
	長野県						1	1
富山県	黒部市	宇奈月温泉				2		2
石川県	金沢市				1			1
岐阜県	高山市	高山市内・平湯温泉				23	1	24
	郡上市	郡上高原				1		1
愛知県	名古屋市						1	1
滋賀県	大津市	琵琶湖畔・比叡山	1	3	2	12	12	30
	草津市					1		1
	滋賀県			2		3	3	8
京都府	京都市		167	153	132	354	210	1,016
	宇治市					4		4
大阪府	大阪市				2		4	6
兵庫県	神戸市					1		1
	淡路島						1	1
奈良県	奈良市		1	4	1	4	5	15
	吉野町						1	1
広島県	広島市			1				1
沖縄県	那覇市			1	1			2
	恩名村				1			1
未記入				1	2	1	3	7
合計			171	165	144	407	369	1,256

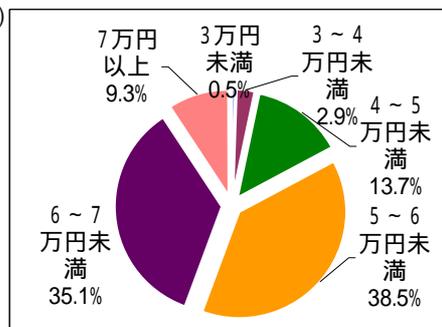
<3 泊目>

(校)

府県	市町村	地域	茨城	栃木	群馬県	埼玉	千葉	合計
栃木県	日光市						1	1
京都府	京都市			1			1	2
合計				1			2	3

5. 県別費用区分(生徒一人当たり平均額<体験活動費含む>) (校)

	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	合計
3万円未満					5	5
3~4万円未満	1		1	2	27	31
4~5万円未満	2	3	2	67	73	147
5~6万円未満	11	31	31	215	124	412
6~7万円未満	80	88	69	61	78	376
7万円以上	43	43	11	1	1	99
合計	137	165	114	346	308	1,070



・旅行費用(生徒一人当たり平均額)記入校のみ

5-2. 方面別費用区分(生徒一人当たり平均額<体験活動費含む>) (校)

	東北	会津・新潟・日光	伊豆・箱根	信州	北陸	東海	関西	広島・岡山・関西	沖縄	合計
3万円未満		5								5
3~4万円未満	2	15	1	10			3			31
4~5万円未満	6	13	1	40	3	1	83			147
5~6万円未満	6	3		10	14		379			412
6~7万円未満					7		364	5		376
7万円以上							83	13	3	99
合計	14	36	2	60	24	1	912	18	3	1,070

・那須方面は会津・新潟・日光に含む。

5-3. 方面別平均費用(生徒一人当たり平均額<体験活動費含む>) (円)

	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	5県平均	最高金額	最低金額
東北	46,237		-	45,737	48,466	48,112	59,000	38,656
会津・日光					37,686	38,053	51,000	28,000
新潟・会津					45,333	45,333	50,000	41,000
那須					48,000	48,000	48,000	48,000
伊豆・箱根			30,000		45,000	37,500	45,000	30,000
信州	47,000				43,841	43,894	58,000	32,778
北陸			55,000	57,262		57,167	64,884	46,380
東海					48,000	48,000	48,000	48,000
関西	66,190	64,848	61,198	54,324	57,362	59,292	84,000	32,216
広島・関西	74,000	73,575	70,618	-		72,408	80,000	60,923
岡山・関西					65,516	65,516	65,516	65,516
沖縄		78,000	114,284			102,189	117,969	78,000
平均額	66,019	65,354	62,380	54,495	52,284	57,855	117,969	28,000

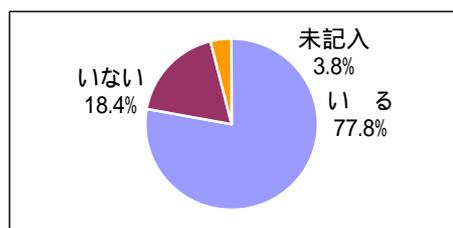
・2日間・4日間で実施の学校を除く。- は数値不明

6. 不参加生徒数について

(1) 不参加生徒数の有無 (校)

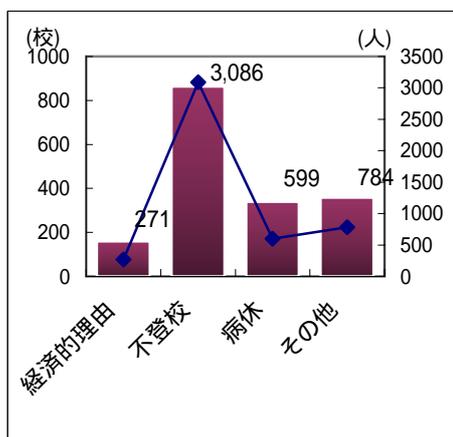
	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	合計
いる	137	124	97	307	315	980
いない	33	40	43	70	46	232
未記入	1	1	4	33	9	48
合計	171	165	144	410	370	1,260

・埼玉県の未記入のうち2校は不参加者数未定。



(2) 理由別不参加の延校数と生徒数(上段:延校数、下段斜字:生徒数)

	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	合計
経済的理由	22	24	16	59	38	159
	39	47	32	101	52	271
不登校	111	112	80	273	287	863
	350	384	230	1,034	1,088	3,086
病休	53	40	27	123	97	340
	85	69	43	229	173	599
その他	53	39	38	134	94	358
	113	72	72	353	174	784
内訳不明	1		2	1		4
	10		3	1		14
合計	240	215	163	590	516	1,724
	597	572	380	1,718	1,487	4,754



○その他の理由()は校数

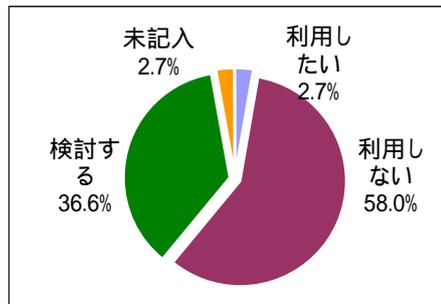
・別室教室(1) ・大会参加(2) ・宗教的理由(1) ・外国籍(1) ・忌引き(1) ・転校予定(1)

連合体の新大阪以西の利用について

1. 広島まで利用可能となった場合 (校)

	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	合計
利用したい	5	8	6	6	9	34
利用しない	92	90	69	245	233	729
検討する	70	62	64	149	115	460
未記入	4	4	3	10	13	34
合計	171	164	142	410	370	1,257

・栃木県では22年度に1校閉校予定の為、当設問への回答校は164校である。
 ・群馬県で22年度実施予定無しが2校あり、当設問への回答校は142校である。



1-1. 連合体利用状況別 (校)

	茨城県		栃木県		群馬県		埼玉県		千葉県	
	利用校	未利用校								
利用したい	3	2	6	2	2	4	6		4	5
利用しない	57	35	61	29	14	55	185	60	97	136
検討する	44	26	48	14	18	46	121	28	83	32
未記入	1	3	3	1		3	4	6	3	10
合計	105	66	118	46	34	108	316	94	187	183

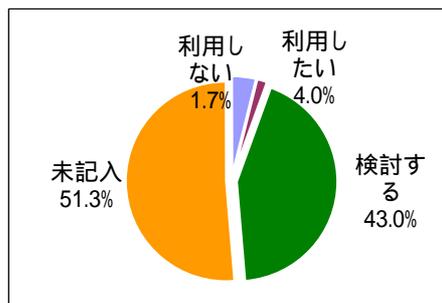
	5県合計	
	利用校	未利用校
利用したい	21	13
利用しない	414	315
検討する	314	146
未記入	11	23
合計	760	497

・利用校区分は21年度輸送計画による。

2. 費用増額となるが利用を希望されるか (校)

	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	合計
利用したい	3	6	6	1	5	21
利用しない	1		4	2	2	9
検討する	41	37	22	74	53	227
未記入	34	31	41	88	77	271
合計	79	74	73	165	137	528

・回答は設問1の「利用しない」学校以外。



2-1. 連合体利用状況別 (校)

	茨城県		栃木県		群馬県		埼玉県		千葉県	
	利用校	未利用校								
利用したい	1	2	4	2	2	4	1		3	2
利用しない	1				2	2	1	1	2	
検討する	27	14	27	10	7	15	64	10	35	18
未記入	19	15	26	5	9	32	66	22	50	27
合計	48	31	57	17	20	53	132	33	90	47

	5県合計	
	利用校	未利用校
利用したい	11	10
利用しない	6	3
検討する	160	67
未記入	170	101
合計	347	181

<参考> 利用希望生徒数概算
 広島まで利用可能となった場合

生徒数は21年度在籍の第1学年生徒

	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	合計
連合利用校	479	1,049	125	761	802	3,216
未利用校	461	327	318	0	809	1,915
合計	940	1,376	443	761	1,611	5,131

・広島まで利用可能となった場合の生徒数は連合体利用校・未利用校合計5,131名である。

費用増額でも利用を希望したいか

	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	合計
連合利用校	163	736	125	92	520	1,636
未利用校	461	327	318	0	258	1,364
合計	624	1,063	443	92	778	3,000

修学旅行に向けての取組みについて

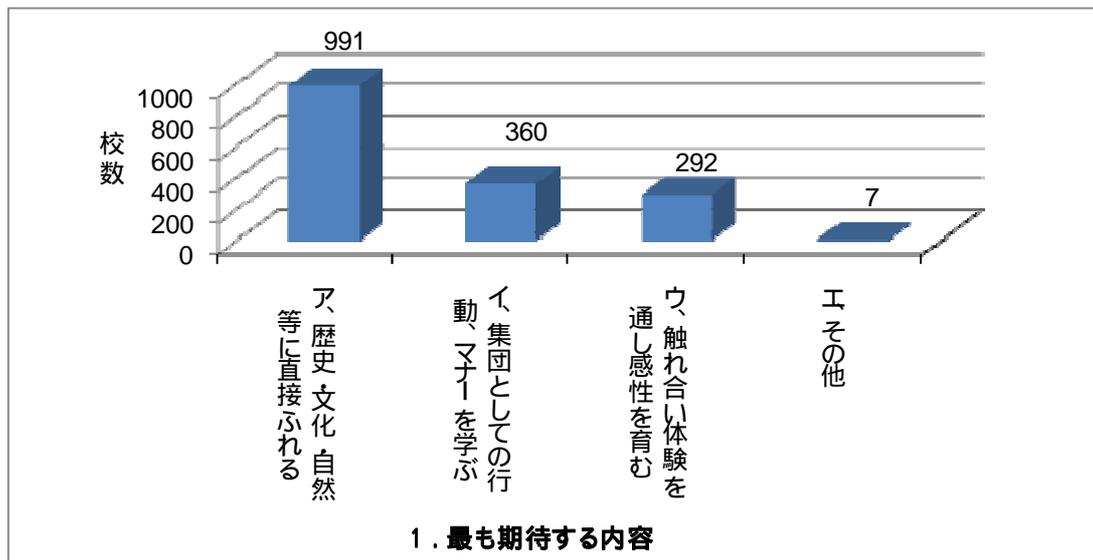
新教育課程の移行期を迎えた今、修学旅行を実施するにあたり学校としてどのような修学旅行を目指そうとしているのか、考えや実施状況を調査する。

1. 修学旅行を実施するにあたり、最も期待している内容は何か。
2. その期待に向けて、訪問地で最も重視した活動は何か。
3. 修学旅行でどのような直接体験が組み込まれたのか。
4. その活動でよかったこと、課題となったことは何か。

1. 修学旅行を実施するにあたり、最も期待されている内容は何か (複数回答)

	栃木	群馬	茨城	埼玉	千葉	計
ア、歴史・文化・自然等に直接ふれる	137	105	132	354	263	991
イ、集団としての行動、マナーを学ぶ	91	43	37	116	73	360
ウ、触れ合い体験を通し感性を育む	80	16	30	51	115	292
エ、その他		1	1	3	2	7
計	308	165	200	524	453	1,650

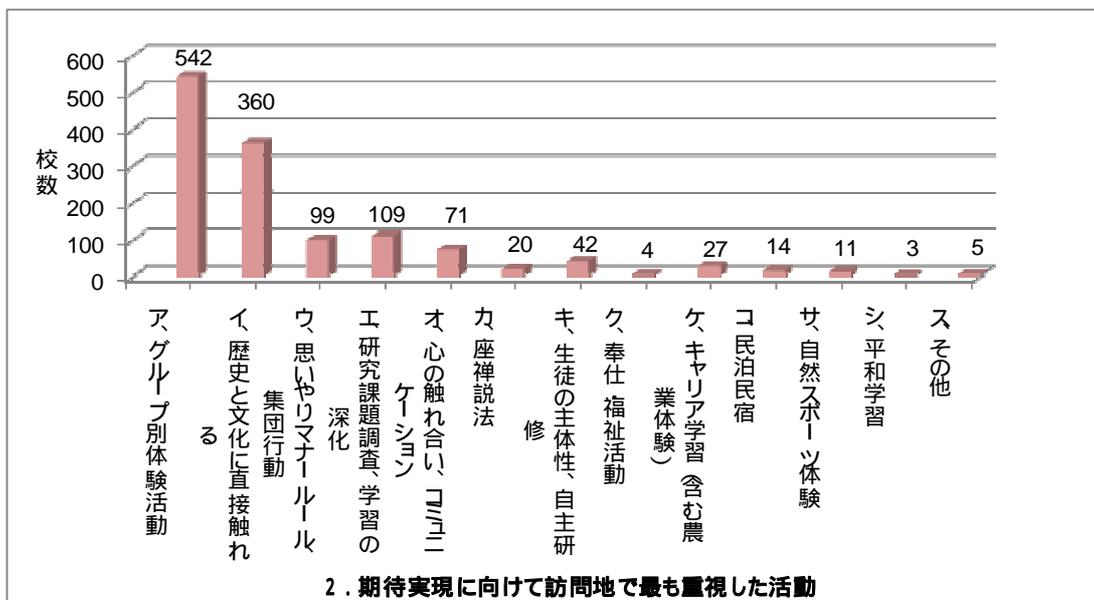
修学旅行を実施するにあたって、学校として生徒に最も期待している内容は、日常、学校の学習では得ることのできない歴史・文化・自然等に直接触れる事による学習効果を最も期待していることが分かる。次に期待することとして、集団としての行動、マナー等の力をつけていくことを期待している。



2. その期待実現に向けて、訪問地で最も重視した活動はどのようなことか

	栃木	群馬	茨城	埼玉	千葉	計
ア、グループ別体験活動	54	55	97	161	175	542
イ、歴史と文化に直接触れる	51	78	45	102	84	360
ウ、思いやりマナールール、集団行動	14	20	11	33	21	99
エ、研究課題調査、学習の深化	5		20	49	35	109
オ、心の触れ合い、コミュニケーション	4	18	9	13	27	71
カ、座禅説法	3		14	1	2	20
キ、生徒の主体性、自主研修	3		4	28	7	42
ク、奉仕・福祉活動	1		1		2	4
ケ、キャリア学習(含む農業体験)			1	1	25	27
コ、民泊民宿					14	14
サ、自然スポーツ体験					11	11
シ、平和学習	1		1		1	3
ス、その他	2		1		2	5
計	138	171	204	388	406	1,307

グループ別体験を通して生徒の手による計画立案を実施し、修学旅行への取組みを進めている学校が全体の32%を占める。関東地区の中学校では全中学校数の約87%の学校が関西(京都・奈良)方面を実施していて、古都の文化遺産、歴史と伝統に直接触れる事に主眼を置いている。次に研究課題調査活動や学習の深化に繋がるものと考えている。修学旅行の目的の毛一つは集団行動、公衆道徳、マナーをいかにはぐんでいくかという事があるがこれらを重視している学校も多く見られる。

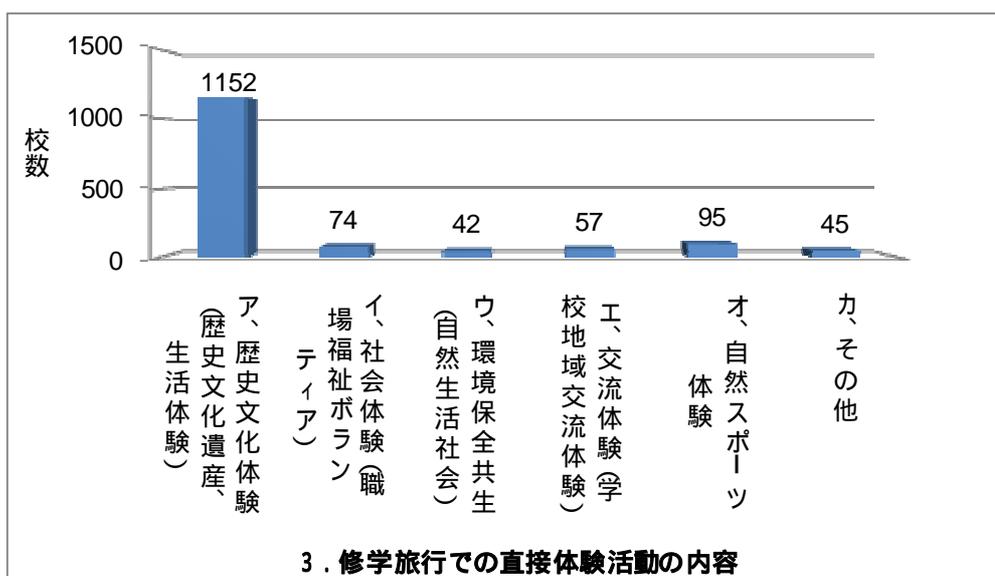


3. 修学旅行でどのような直接体験活動が組み込まれたか (複数回答可)

	栃木	群馬	茨城	埼玉	千葉	計
ア、歴史文化体験(歴史文化遺産、生活体験)	156	122	237	335	302	1,152
イ、社会体験(職場福祉ボランティア)	4	9	4	24	33	74
ウ、環境保全共生(自然生活社会)		2		5	35	42
エ、交流体験(学校地域交流体験)	1	2	1	12	41	57
オ、自然スポーツ体験	1	8	1	12	73	95
カ、その他		7		38		45
計	162	150	243	426	484	1,465

・京都・奈良方面への修学旅行が圧倒的に多く歴史文化を中心とした取組みが組み込まれている。生活体験としては京都奈良ではの京菓子作りや清水焼、京扇子、染物などの製作にあっているものが多い。

・茶道、茶会を通して学校間の交流を行ったり、伝統文化に触れる事で生徒の意欲関心を高めたり学校の経営の一環として実施する姿も見られる。



(直接体験活動の内容)

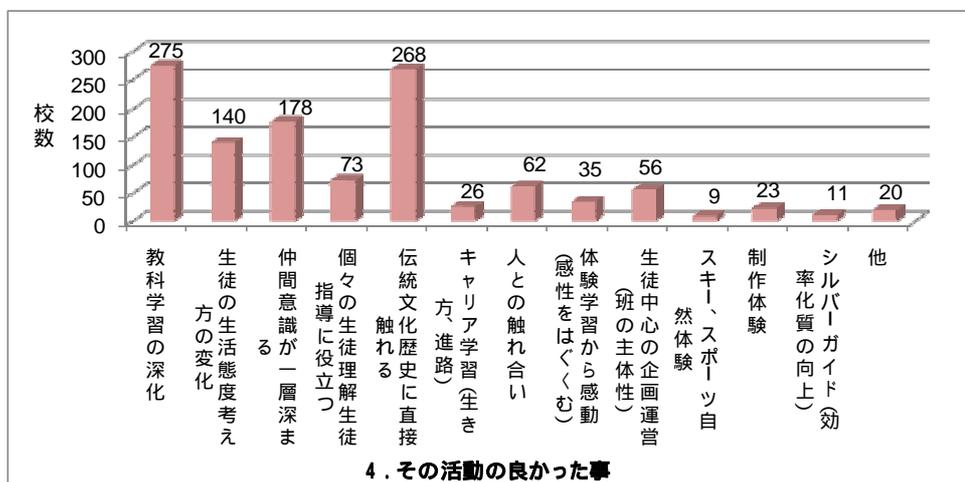
ア	イ	ウ	エ	オ
俳句	外国人取材	嵐山散策	遊覧船	事前に観光協会と連携 漁体験 グラスボード 漁業体験 保津川下り
友禅染	ゴミ拾い		タクシー研修	
雅楽	果物摘果		外国人との交流	
漆器の絵付	広島での平和学習			
清水焼絵付	班別活動			
能・狂言	外国人観光客とのコミュニケーション			
郷土料理				
民芸品				
講話				
町家散策	陶芸	和菓子(八ッ橋・京菓子)作り	首里城・ひめゆり資料館見学	
歴史文化遺産見学	ガラス細工	八ッ橋	七宝焼き-	
和菓子	座禅	座禅	雅楽の鑑賞と実演体験	
着物着付け体験	京舞観賞	寺社の見学	被爆者講話	
ナイトツアー	清水焼・扇子の絵付	僧侶の法話	民舞・ソーラン節体験	
舞妓の京舞	友禅染	黒糖づくり	金箔貼り+	
扇子	茶道・琴の鑑賞	茶道体験	能楽	
法話	漆塗り	絵付け	せんべい	

4. その活動の良かった事、また課題となったことはどのようなことか。

<良かった事> 学んだことがどのような場面で生かされているか

	栃木	群馬	茨城	埼玉	千葉	計
教科学習の深化	74	49	13	97	42	275
生徒の生活態度考え方の変化	66	16	12	21	25	140
仲間意識が一層深まる	133	16	5	6	18	178
個々の生徒理解生徒指導に役立つ	65	2	2		4	73
伝統文化歴史に直接触れる	2	24	95	23	124	268
キャリア学習(生き方、進路)			5	8	13	26
人との触れ合い		5	10		47	62
体験学習から感動(感性をはぐくむ)	2	1	7		25	35
生徒中心の企画運営(班の主体性)		2	19		35	56
スキー、スポーツ自然体験					9	9
制作体験			2	7	14	23
シルバーガイド(効率化質の向上)			2		9	11
他	1	2	6	4	7	20
計	343	117	178	166	372	1,176

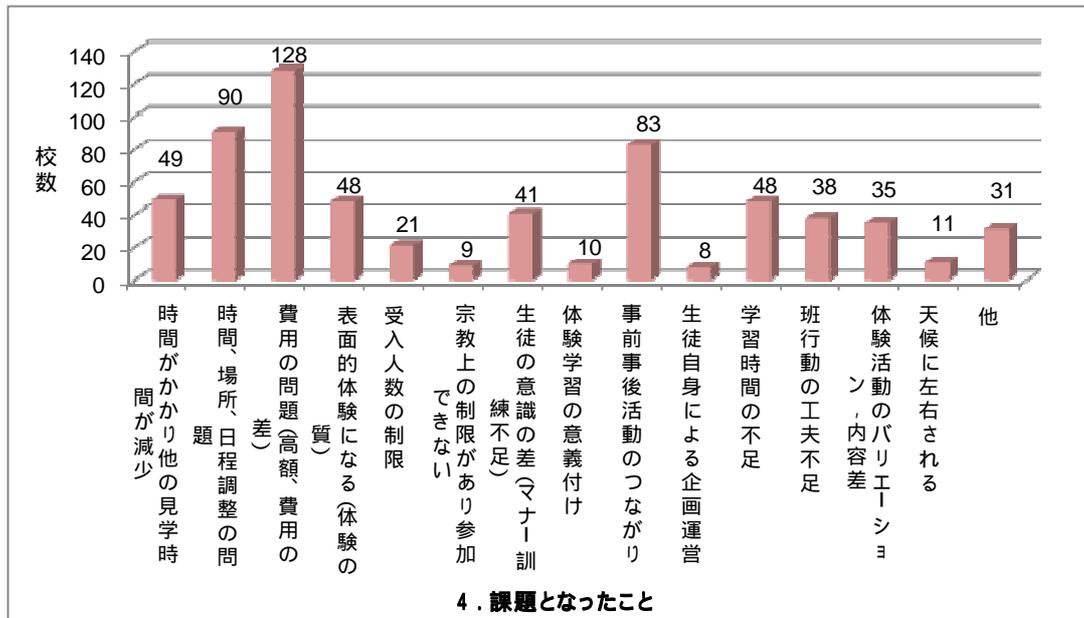
修学旅行と教科学習の深化、伝統文化歴史に直接触れる事による生徒への影響力の大きさは日常の活動では到底得ることのできないものである。修学旅行後の学習にも生かされ、その後の成長、感性をはぐくむための大きな要因となっている。修学旅行を通して一層強い仲間意識がはぐくまれたり、考え方に変化が見られるといったことも生徒の成長につながるものである。また、生徒自身の手によって企画運営することにより、生徒の自立、主体性を引き出す活動にもつながっている。



<課題>

	栃木	群馬	茨城	埼玉	千葉	計
時間がかかり他の見学時間が減少	15	6	11	12	5	49
時間、場所、日程調整の問題	12	16	18	32	12	90
費用の問題(高額、費用の差)	13	11	23	34	47	128
表面的体験になる(体験の質)	5	5	10	7	21	48
受入人数の制限	5	4	1	3	8	21
宗教上の制限があり参加できない	2	2	1	1	3	9
生徒の意識の差(マナー訓練不足)	1	9	3	15	13	41
体験学習の意義付け	1	2	1	2	4	10
事前事後活動のつながり	1	14	3	57	8	83
生徒自身による企画運営	1	1	3		3	8
学習時間の不足			11	3	34	48
班行動の工夫不足		1	12	1	24	38
体験活動のバリエーション、内容差	5	5	11	1	13	35
天候に左右される					11	11
他		4	11	3	13	31
計	61	80	119	171	219	650

約20%の学校が費用の問題を出している。体験活動をさせたい。しかし個々に係る費用の問題が重くのしかかっている。また、体験活動をさせる上で時間的なことや場所の問題、日程の調整等で苦勞している様子も伺える。大きな団体がいかに効率的に満足できる体験活動をすることができるか、今後とも学校は勿論旅行業界としても検討を必要とするところである。



総合的な学習の時間の減少に伴って、旅行に向けての学習時間の不足を訴える意見や班行動を検討したり工夫したりする時間の不足を訴える意見、また事前事後の活動に結び付けるための時間の捻出に苦勞している様子も伺うことができる。また、近年「体験活動の質」等で表面的なものになっていないか問うような考えが出てきている。体験ありきから、体験の質や体験の意義など、学校のねらいや目標などと合致したものであるのか、体験についても教育的な意義、効果をしっかり考えたものがこれからの修学旅行では重要と考えられる。